きたくかんきょうだいがく
北区環境大学

き　そ　こうざ
子ども向け環境基礎講座 2013

「水のながれ」

水はどこから来て
どこへ行くのでしょうか？

汚＜よご＞れた水は
どのようにしてきれいになるのでしょうか？

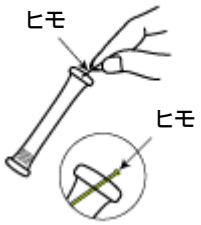
「水のながれ」について考えましょう！！

お茶の水女子大学
サイエンス＆エデュケーションセンター
特任講師　吉村和也

※テキストの一部

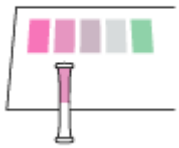
水の性質＜せいしつ＞（水質＜すいしつ＞）を調＜しら＞べよう

① パックテストの使い方

1 

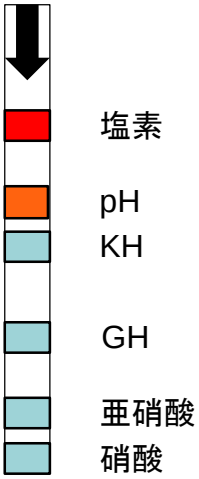
2

3

4 

1. チューブの先にある黄緑色＜きみどりいろ＞のヒモを引き抜＜ぬ＞きます。
2. 引き抜いて出来た穴を上にして、チューブの下半分を指＜ゆび＞で強くつまんで、中の空気を追＜お＞い出します。
3. そのまま、調＜しら＞べる水の中に穴＜あな＞を入れ、つまんだ指の力をゆるめて、チューブの半分くらいまで水を吸い込みます（吸い込むのは1回だけです）。**水の入ったチューブをジップロックに入れます。**
4. 水の入ったチューブを数回振＜ふ＞って混＜ま＞ぜて、調べる項目＜こうもく＞ごとに決まった時間が経＜た＞ったら、配＜くば＞った色の見本と比＜くら＞べて数値＜すうち＞を調べます。

注意！！　もし、チューブの中の水が目に入ったり、手に付いたり、口に入ったりしたら、すぐに水で洗い流してください。

② 試験紙＜しけんし＞（テトラテスト）の使い方

1. 調べる水に、試験紙を1秒間だけ浸＜つ＞けます。
2. 水から引き上げたらすぐに塩素（＜えんそ＞：持っている所に一番近いところ）の色を、配った色の見本と比べて、数値を調べます。水から引き上げてから1分後に、pH＜ぴーえいち＞の色を見本と比べて、数値を調べます。